

PG加圧Qシリーズ

# PG 電動ポンプQ

# PG 加圧バッグQ



&gt; 簡単 &lt;

電動ポンプによる  
空気圧で  
栄養剤を投与

&gt; 便利 &lt;

胃瘻・経鼻  
どちらでも  
OK

“ケアの時間を増やしたい”なら、  
栄養剤の投与を電動ポンプに。

## 仕様

一般的名称：手動式圧注入調節装置

販売名：PG加圧Qシリーズ

医療機器届出番号：27B1X00116000235

医療機器クラス分類：クラスI(一般医療機器)

|          | 商品コード  | 包装単位 | JANコード         |
|----------|--------|------|----------------|
| PG電動ポンプQ | A60302 | 1台   | 4934989 611390 |
| PG加圧バッグQ | A60303 | 1セット | 4934989 083975 |

## 〈使用上の注意〉

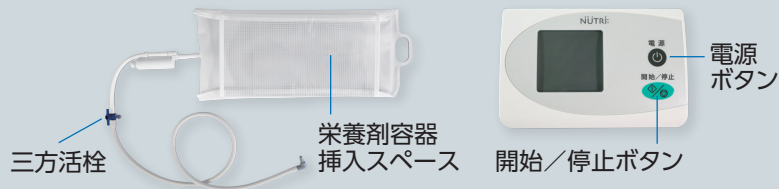
- ご使用の際は、電子化された添付文書をよく読んでから使用してください。
- PG加圧バッグQの加圧時、外部から圧力をかけないでください。  
[PG加圧バッグQが破裂し怪我の原因となります。又、PG電動ポンプQが破損する原因となります。]
- 水ぬれに注意し、直射日光及び高温多湿を避けて保管してください。



各部の名称

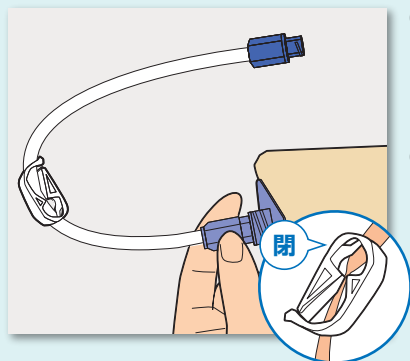
PG加圧バッグQ

PG電動ポンプQ



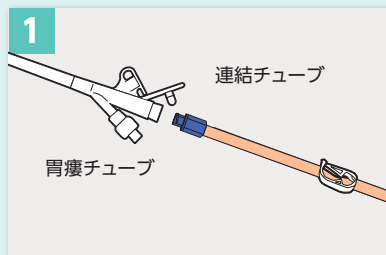
## PG加圧Qシリーズの操作手順

### 準備する

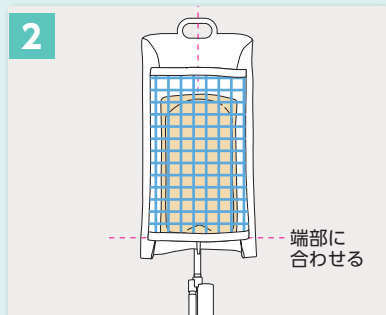


- ①栄養剤と連結チューブを接続する。
- ②連結チューブ内を栄養剤で満たした後、クレンメを閉じる。

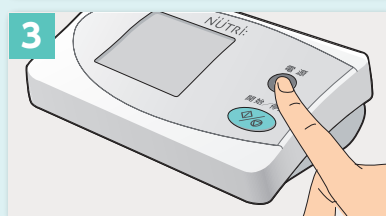
### 投与を開始する



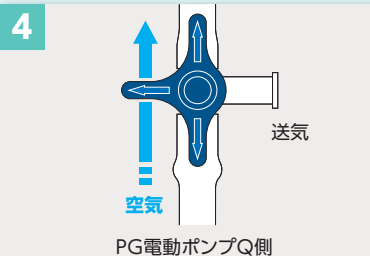
連結チューブの先端を胃瘻チューブに接続する。



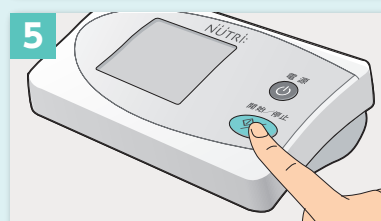
連結チューブを付けた栄養剤を挿入スペースに入れる。



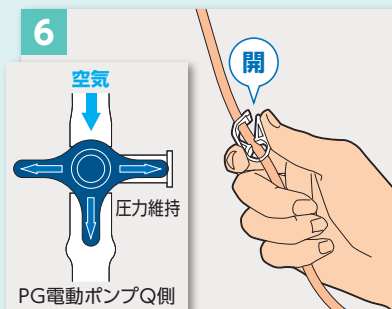
PG電動ポンプQの電源を入れる。



三方活栓を送気側に回す。



開始/停止ボタンを押し、加圧を開始する。  
圧力が42kPaに達すると自動的に送気は停止します。



三方活栓を圧力維持側に回し、PG電動ポンプQの電源を切る。  
連結チューブのクレンメを開けて投与を開始する。

### 投与を終了する



三方活栓を脱気側に回し、PG加圧バッグQの空気を抜く。  
栄養剤を取りだし、残りを絞って注入する。

PG加圧Qシリーズの使用方法の動画はこちら▶▶▶



### 関連製品

#### EJ連結チューブⅡ

(チューブ長30cm・60cm)  
一般的名称:経腸栄養注入セット  
販売名:EJ連結チューブⅡ  
医療機器届出番号:34B1X00001000118



#### PG加圧バッグⅢ

一般的名称:手動式圧注入調節装置  
販売名:PG加圧バッグⅢ  
医療機器届出番号:27B1X00116000332



NÜTRI: ニュートリー株式会社

本社 / 〒510-0013 三重県四日市市富士町1-122

お問い合わせ先 TEL.0120-219-038 <https://www.nutri.co.jp>

PPG010 2025年8月作成

64\_0065



\* 6 4 0 0 6 5 P P G 0 1 0 \*